



※写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません。

■ 第IV章

■ 父親の心の内

いつのまにか中年とよばれる年代にさしかかった父親たち。仕事に、家庭にと振り返る間もなく生きてきた彼らが、ふとその人生を思い返すとき、どんな感慨を持つのだろうか。この章では、そんな父親たちの心情に迫ってみたいと思う。

1. 人生を振り返って

ささやかなしあわせ

はじめに、ストレートにこれまでの人生に対する満足度を「仕事」・「妻」・「子ども」の三つの側面からたずねてみた。表6は、これまでの人生を振り返ってどのくらい満足して

いるかを「とても満足している」から「とても不満がある」までの7段階で評価を求めた結果である。仕事の面で、「とても満足している」と答えた者17%、「かなり満足している」22%を合わせて、かなりの充足感を持てる父親は4割ほどであった。この数値は、妻や子

(表6) これまでの人生に対する満足度

└→おおむね満足している

(%)

	満足している			どちらとも いえない	不満がある		
	とても	かなり	やや		やや	かなり	とても
仕事の面で	17.1	22.3	30.3	17.9	7.5	2.8	2.1
	└──────────┘ 69.7				└──────────┘ 12.4		
妻について	24.5	27.7	27.6	14.1	3.6	1.2	1.3
	└──────────┘ 79.8				└──────────┘ 6.1		
子どもについて	23.4	28.2	30.5	10.4	5.4	1.3	0.8
	└──────────┘ 82.1				└──────────┘ 7.5		

に対する満足度を1割ほど下回っている。そうした意味では、仕事についての充足感が最も低いが、それでも、積極的に不満を訴えた者は1割強にすぎない。不満をいいたせばかりがないが、仕事とは、所詮、つらいもの。失業をしている人のことを考えれば、よしとしなければという心境なのであろうか。

子どもに対する気持ちの項で、ふれたように、理想を求めれば不満がつる。世の中には、非行を犯す子もいるのだから、そうした子と比べれば、将来に対して希望を託せなくとも、満足しなければなるまい。そうしたあきらめの後に見出したささやかな満足感という印象を、仕事に対する気持ちについても感じられてならない。

もっとも、40代の半ばともなれば、決して若くはない。若いころのような、むき出しの闘争心は薄れがちだし、振り出しに戻って人生をやり直すにしては、年齢をとりすぎている。だから、「現在」を大事に生きていこうと考える。

努力だけはしてきた

中年を迎えた父親たちのそうした心境をよくあらわしているのが、表7の結果である。「今までの人生を振り返って」の問いに、「自分に能力があった」とも思えないし、「時代がよかった」、あるいは、「運がよかった」とも考えられない。しかし、「人間関係に恵まれ」、そうした中で、「精一杯努力だけはしてきた」つもりだという。

すでにふれたように、本サンプルの学歴はかならずしも高くはないし、仕事の面でも、腕一本を頼りに生きていく人の割合が多い。

40代の半ばといえば、戦争のさなかに子ども時代を過ごし、青年期の前半を戦後の混乱の中で送った世代である。したがって、仕事についた後も、技術革新のあおりを受け、荒波にはんろうされるような年月であったと考えられる。そして、どうやらこうやら、荒波を乗り切って、相対的に安定した現在を迎えることができた。そう考えると、「**才能があったとは思えないが、努力だけは重ねたつもりだ**」は、父親の偽らざる心境のように思えてくる。

(表7) 人生を振り返って

→ 努力だけは重ねてきたつもり

	そう思う		どちらとも いえない	そう思う		
	とても	まあ		まあ	とても	
家族に恵まれた	31.0	52.2	12.9	2.5	1.4	家族に恵まれなかった
	└─83.2─┘			└─ 3.9 ─┘		
精一杯努力した	27.2	49.6	18.4	3.4	1.4	あまり努力しなかった
	└─76.8─┘			└─ 4.8 ─┘		
人間関係に恵まれた	19.8	42.8	30.6	5.1	1.7	人間関係に恵まれなかった
	└─62.6─┘			└─ 6.8 ─┘		
よい親に恵まれた	20.2	39.7	29.9	5.9	4.3	親に恵まれなかった
	└─59.9─┘			└─10.2─┘		
運がよかった	12.3	41.1	37.8	5.8	3.0	運が悪かった
	└─53.4─┘			└─ 8.8 ─┘		
時代がよかった	8.1	28.7	45.2	9.7	8.3	時代が悪かった
	└─36.8─┘			└─18.0─┘		
自分に能力があった	5.3	28.9	54.1	8.8	2.9	自分に能力がなかった
	└─34.2─┘			└─11.7─┘		

2. 現状についての満足度

家庭に満足している父親たち

そうだとすると、「現在」についての肯定度は、かなり高いと予想されよう。

表8は、家族、住居、職業上の地位、収入、学歴の7項目についての満足度を7段階（とても満足～とても不満）で評価させた結果である。子どもや妻に対する満足度は前述のデータと同様かなり高く、「とても」から「やや」までを含めると、満足している者が8割を越えている。しかし、仕事に関する三項目の満足度が低下しているのが気になる。仕事上の地位に「満足している」者57%、現在の収入に「満足している」者52%と50%台に下がるし、最終学歴について満足を感じている

者は35%まで落ち込む。

しかし、こうした満足感については、繰り返し指摘してきたように、ここでも、それがあきらめの後のささやかなしあわせであることを述べざるを得ない。表8によると、満足感が最も高いのが、子どものことであった。しかし、その子どもは、かならずしも父親の意にそったものではなかった。

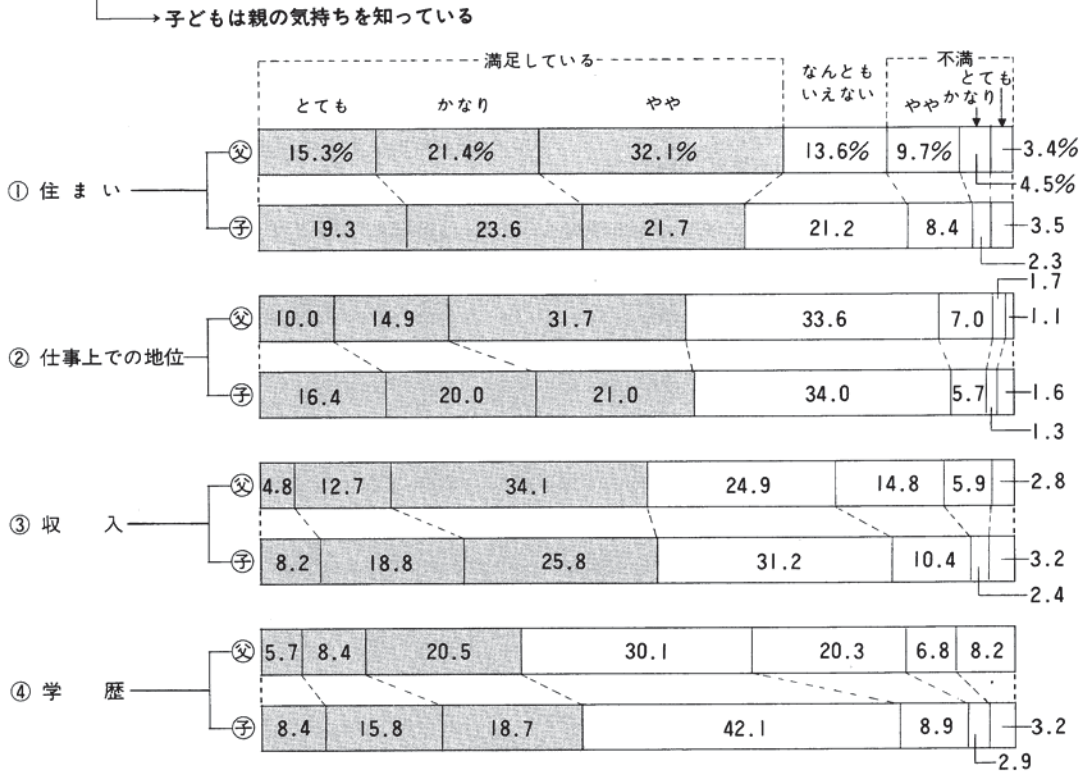
そうした子どもに対する満足度が85%に達していることを考えると、その他の満足度も、相当割り引く必要があるだろう。がんばってきた割には、仕事や収入の面で、今ひとつ、満足感を持ってない。それは、学歴がプレーキになっているからだ。そうだとすると、父親たちの高学歴に対するあこがれは、かなり強いと

(表8) 現在の状況についての満足度

↳ 形式的な満足感が高いのだが

	満 足			なんとも いけない	不 満		
	とても	かなり	やや		やや	かなり	とても
子ども	22.7	29.5	32.4	11.6	2.6	0.7	0.5
	↳ 84.6				↳ 3.8		
妻	24.2	28.5	29.3	12.8	3.0	1.0	1.2
	↳ 82.0				↳ 5.2		
住む地域	18.2	24.3	32.9	16.1	5.5	2.1	0.9
	↳ 75.4				↳ 8.5		
住まい	15.3	21.4	32.1	13.6	9.7	4.5	3.4
	↳ 68.8				↳ 17.6		
仕事(上の地位)	10.0	14.9	31.7	33.6	7.0	1.7	1.1
	↳ 56.6				↳ 9.8		
収入	4.8	12.7	34.1	24.9	14.8	5.9	2.8
	↳ 51.6				↳ 23.5		
最終学歴	5.7	8.4	20.5	30.1	20.3	6.8	8.2
	↳ 34.6				↳ 35.3		

〈図23〉 現状についての満足度 ～父の評価と子の予想～



思わざるを得ない。

しかし、前章で紹介した結果によれば、無理をしてまで、大学へ行かせる気持ちはないし、多分、我が子のよい大学への進学は困難だろうと予想していた。となると、父親たちのもっとも大きな願いはかなえられそうにない。

それでは、子どもたちは、父親が現状にどのくらい満足感を抱いていると予想しているのだろうか。図23に父親の評価と子どもの予想を示してみた。全体として、子どもたちの予想は、父親よりもやや楽観的な数値を示しているが、ほぼ父親の心情を見抜いている。いっしょに生活をしていれば、父親の気持ちはおのずと分かるのであろうか。

妻が口やかましい

家庭での生活は、様々な感情が織りなして成り立っている。したがって、「まあしあわせ」という父親たちも、家庭生活の細かな部分にはうち足りない気持ちを抱いているのではなかろうか。

図24に示したように、なにしろ、本サンプルは、「女性のしあわせは家庭に入ることである」を信じている者が82%、「男子たるものの生きがいは仕事にある」が80%と、性的な分業意識をかたく信じて、むしろ伝統的な価値観を抱いている人たちである。したがって、妻たちの変わりように、いらいの気持ちを抱いているとも考えられる。

〈図24〉 男性と女性のしあわせな生き方（子どもの将来）

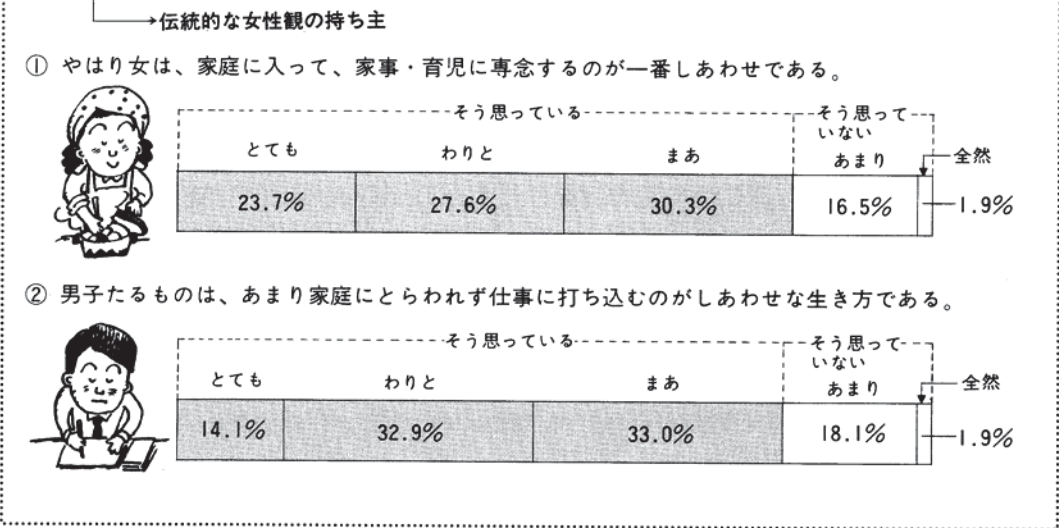


表9は、父親が家庭に対して抱く不適応感や疎外感などについて、どのくらい感ずることがあるかをたずねた結果である。さすがに「しょっちゅう・わりと」感ずることがあると答える割合はそれほど高くないが、「時々・たまにある」まで合わせると半数を越える項目がほとんどとなる。まずトップは何といっても「妻が口やかましすぎる」で「しょっちゅう・わりとある」19%、「時々・たまにある」70%を含めると9割近くの父親がそうした不満を感じている。また、家族に対して、「外での苦勞を分かってくれない」や、「もう少し大切に尊敬されるべき」など父親として報われていないという不満を時折持つという父親も少なくない。しかし、全体としてみれば、妻や子どもの口やかましさを別とすれば、**家庭の中の父親は、それほど疎外されていないという印象を受ける。「厳しさとやさしさ」とを兼ね備えた父親のあり方が家族の者に受け入れられ、まずは、しあわせな家庭生活を送っている**のであろう。

子どもの将来が楽しみ

なお、図25に、子どもからみた父親の気持ちや、父自身の評価と対比させて示してみた。数値に多少のちらつきが見出され、特に、⑦「家庭がきゅうくつだ」、⑧「家族の中でひとり浮き上がっている」、③「家でくつろげない」などという気持ちを、父親が持っているのではないかと懸念している子どもが多い。

こう書きつづてくると、「情緒型家族」というイメージが浮かんでくる。父親は子どもや妻に思いやりを持ち、子どもの方も、父親の気持ちを推し量る。そして、「子どもは父親を慕いつつ、父親は子どもを信じつつ」となる。

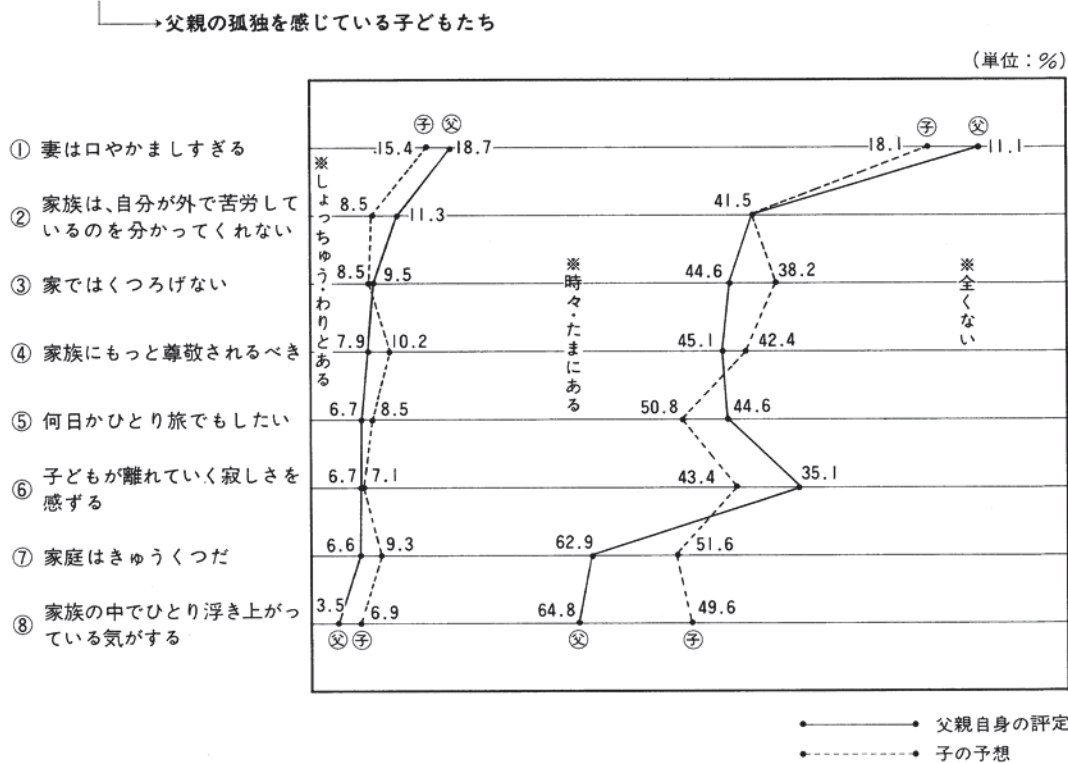
現状はこのようなであったとして、それではこれから先の自分の人生について、父親たちがどんな見通しを持っているのか。その結果を表10にまとめてある。「子どものこと」から「趣味の面」までの5つの点について、「これまでうまくやってきた」者と「これまでうまくいかなかった」者に分け、今後の見通しの

(表9) 家庭への不満

(%)

	しょっちゅうある	わりとある	時々ある	たまにある	全くない
どうも妻は、子どもや自分に口やかましすぎる	5.6	13.1	31.2	39.0	11.1
家族は、自分が外でどんなに苦勞しているか分かってくれない	3.2	8.1	14.2	33.0	41.5
仕事で疲れて帰っても、どうも家では、くつろいだ気分になれない	3.1	6.4	15.9	30.0	44.6
家族の中で、もう少し自分は大切にされ尊敬されるべきである	2.5	5.4	18.2	28.8	45.1
仕事や家庭のわずらわしきから逃れて、何日かひとり旅でもしたいと思うことがある	3.3	3.4	13.8	34.9	44.6
だんだん子どもが、自分の手から離れていくような寂しさを感じることもある	1.9	4.8	20.4	37.8	35.1
いまの家庭には、自分がゆっくり好きなことのできる場がなく、きゅうくつだ	1.8	4.8	10.4	20.1	62.9
休みの日など、家族の中で自分ひとりが浮き上がっているような気がする	1.1	2.4	11.3	20.4	64.8

〈図25〉 家庭への不満 ~父の気持ち~



(表10) これからの人生の見通し

└→子どもに希望を託す

(%)

	これまでうまくやってきたが			これまでうまくいかなかったが	
	これから もっとよくなる	今の状況が つづく	うまくいか なくなる	これから よくなる	これからも だめだろう
子どものこと	35.0	54.9	2.8	7.0	0.3
妻のこと	19.2	74.0	1.7	3.7	1.4
経済的な面	20.0	62.0	7.9	8.5	1.6
仕事の面	18.3	65.6	8.2	6.8	1.1
趣味の面	14.6	68.3	5.0	9.5	2.6

評価を求めた。

表中の数値が示すように、7割前後の父親は、「これまでも、うまくやってきたつもりだし、これから先も、こうした状態が続くだろう」と予想している。何はともあれ、相対的な安定が今後も持続されるだろうという見通しである。しかし、逆のいい方をすればこれから先、大きな進歩や改善はないだろうという希望のみえなさにも通じる。そうした状況の中で、未来に夢を託せるのは、子どもの存

在で、35%と、3分の1以上の父親は、「子どもはこれからよくなる」と信じている。自分の人生は、だいたい、この程度のものだろうが、子どもには未来があるという気持ちがある。

しかし、それにしては子どもたちの未来についての予測が明るくなかったように思う。それほど期待できないかもしれない。しかし、よくなると思いたい。そうした意味では、子どもにける親としての願いが、表中の数値にこめられているように思われてならない。

3. 子どもの成長ぶり

子どもにはひけをとらない

あらためてふれるまでもなく、中学生という年齢は、第二次反抗期のさなかといわれてきた。しかし、これまでのデータを手がかりとすると、子どもの方から、父親に反抗をする兆しが認められず、仲むつまじい親子の姿が浮かんできた。

しかし、子どもたちは、身体的に子どもから脱皮し始めている。当然、父親との身体的な距離が縮まり、それにつれて、精神的にも父に追いつき、追い越すことになろう。そうなれば、父と子との間に葛藤が生まれ、反抗期を迎えるはずである。

考えてみれば、親に依存していた子どもが親から自立し、親を越えていく。そうした過渡期にみられる必然性を伴った一過性の葛藤が、反抗期であろう。それにもかかわらず反抗期の兆しが認められないのはなぜか。

ここでは、まず、追い越される側、つまり、父親の意識にふれてみよう。図26は、「腕ずもうの強さ」から「英語の力」まで、もしかしたら子どもたちが父親を越せるかもしれないという力について、「父親の自信」をたずねた結果である。「子どもにはひけをとらない」という自信の高い順に並べてあるが、まず第1位が「腕ずもうの強さ」であり、「絶対負けない」と答えた者77%、「たぶん負けない」13%まで合わせると、9割にもものぼる父親が子どもに対して絶対的な強さを確信している。また、上位にあがっている項目は、「社会のできごとに関する知識」をはじめ、「粘り強さ」・

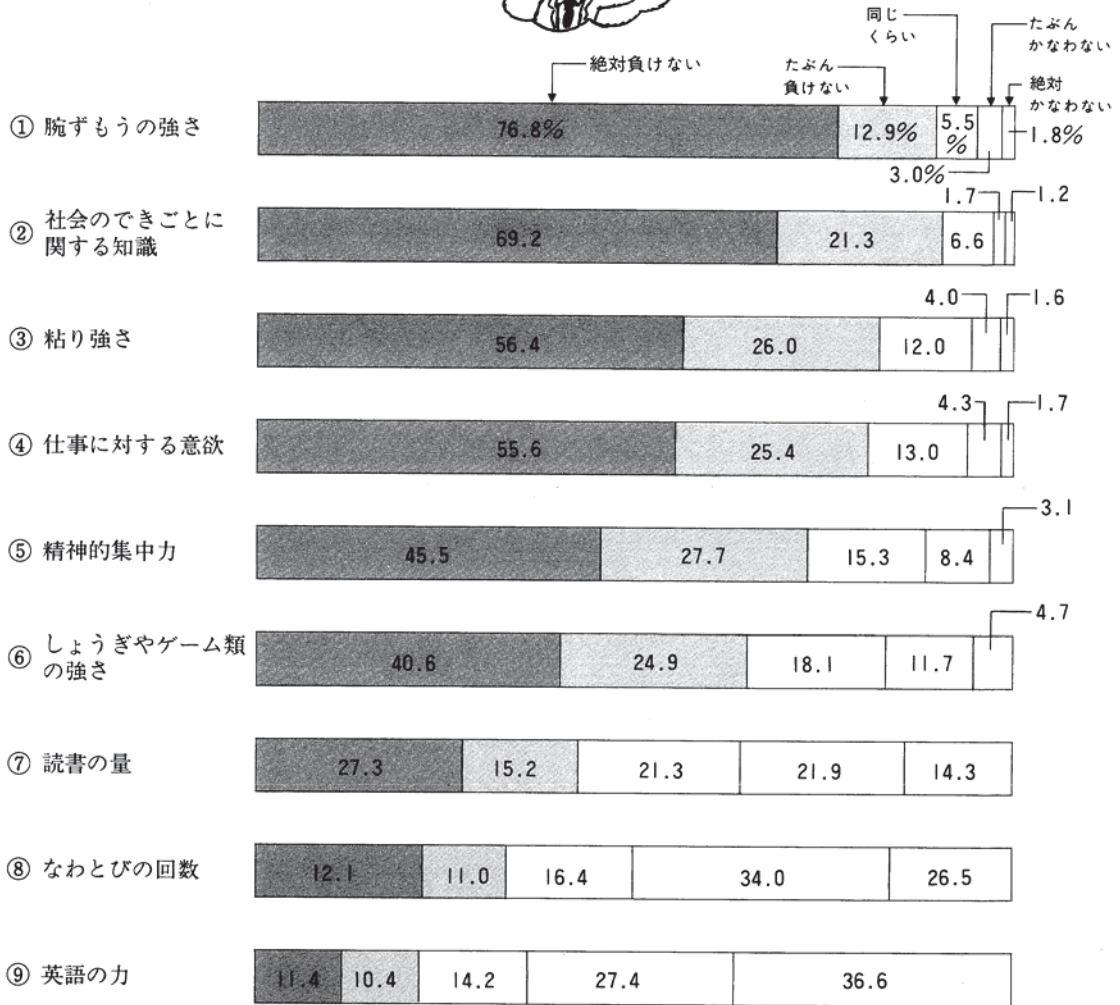
「仕事に対する意欲」「集中力」と厳しい社会の中を生き抜いてきている大人の男性としての自信のようなものを感じさせるものとなっている。そして、まだまだしょうぎやゲームの相手をしても子どもには負けなだろうといった自信が続く。子どもにかなわない領域として父親があっさり認めているのが、ずいぶん昔に習った「英語の力」であり、体力的な衰えを自覚してか「なわとびの回数」となっている。成熟した人間としての強さでは、子どもに負けるはずもない。しかし、やはり体力や学力の面ともなると、日々伸びるものと日々衰えていくものの世代交代を感じさせられているのだろう。

これらの9つの領域で父親が「絶対子どもに負けたくない」と思っているものを1つだけ選択するとなったら何が残ってくるのか。父親としての自信を支える力をこんな形でたずねてみると、以下の通りとなる。

子どもに絶対に負けたくないもの	
第1位	仕事に対する意欲……………(30.8%)
第2位	社会のできごとに関する知識……………(25.4%)
第3位	粘り強さ……………(20.5%)
第4位	精神的集中力……………(11.5%)
第5位	読書の量……………(4.3%)
第6位	腕ずもうの強さ……………(3.6%)
第7位	しょうぎやゲーム類の強さ……………(2.5%)
第8位	英語の力……………(0.9%)
第9位	なわとびの回数……………(0.5%)

〈図26〉 子どもにはひけをとらないという自信

→ まだまだ子どもに負けていない



遊びの面での力や、体力・学力などいずれは子どもの方が力をつけ、親を越えていくものであろう。が、**仕事への意欲や社会的な見識の高さなどは、父親として、いつまでも子どもを引っ張っていききたいといった心意気である。**

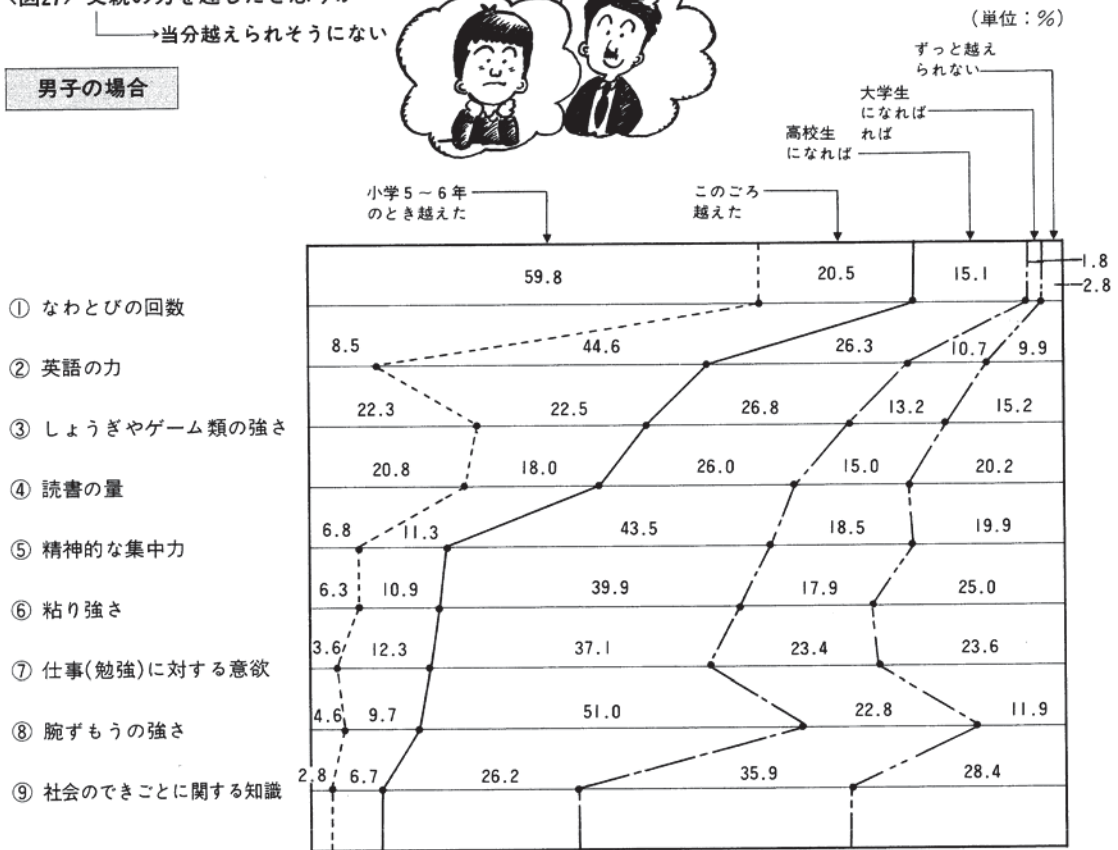
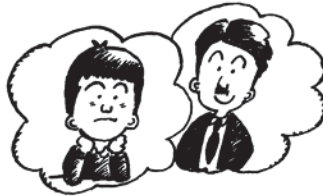
父親を越しにくい

それでは、越えていくサイドの子どもたちは、父親との距離をどう感じているのであろうか。図27は、現状についての男子の評価を示したものである。「小学5～6年生のとき越えた」と「このごろ越えた」を合わせた割合の高い順に項目をあげてあるが、全体としてみる

〈図27〉 父親の力を越したと思うか

→ 当分越えられそうにない

男子の場合



と、父親の評価ともほぼ一致して、「なわとびの回数」や「英語の力」はもう父親を越えていると答える子どもの割合はかなり多くなっている。なお、数値は省略したが、男女別に集計してみると「これからずっと越えられないだろう」とする断念組の割合が女子に高くなっていることが目につく。特に、体力や生活上に必要な精神力については、女子のあきらめ派がぐっと増えているのが注目される。それに対し、男子は、「今はかなわない」がいずれはきっと越えられるはずと答えており、父親をモデルとし、追いつけ追い越せと成長していくたくましい男子の姿をちらりとのぞか

せるデータである。

しかし、それにしても、なわとびや英語の力を除くと、現在のところ、父親を越えたと思っている子は1割前後にすぎず、その他の子は、早くても高校生になってから、そして、3割から5割の子は、父を越えられるのはもっと後だろうと予測している。

子どもの目からすると、仕事に意欲を燃やす父親は「偉大な存在」であり、そう簡単に越えにくいのであろうか。これでは、戦う前から意欲を喪失しているようなもので、反抗期の生じるはずもあるまい。

(表11) 子どもが父親を越えられるか ~父親の年代になったとき~

↳おとなになっても父親を越えにくい

(%)

	越えている		なんとも いえない	越えていない	
	きっと	たぶん		たぶん	きっと
① 体力の面	21.0	28.5	39.4	8.0	3.1
	↳49.5			↳11.1	
② 人間関係	9.1	30.3	54.4	4.9	1.3
	↳39.4			↳6.2	
③ 経済力の面	8.2	26.0	55.4	5.2	5.2
	↳34.2			↳10.4	
④ 社会常識	8.1	29.7	55.0	5.9	1.3
	↳37.8			↳7.2	
⑤ ものごとについての 判断力	8.0	28.2	56.1	5.8	1.9
	↳36.2			↳7.7	
⑥ 仕事に対するやる気	7.6	25.2	58.0	6.7	2.5
	↳32.8			↳9.2	

子どもが越してくれない 父親の悲劇

しかし、中学生の子どもが、現状において、父を越すのは難しいとも思える。なにしろ「30歳ぐらいの男性と比べ、あなたは次のような面で負けない自信がありますか」とたずねたところ、「ぜったい」、「たぶん」負けないと答えた父親の割合は、

1. 仕事に対するやる気……………82.3%
2. ものごとの判断力……………76.0%
3. 社会常識……………72.1%
4. 人間関係……………71.9%
5. 経済力……………78.6%
6. 体力……………29.5%

の通りである。体力の面では、若さにかかわないかもしれない。しかし、仕事や社会についての見通しでは、30代に負けるはずがない。中年層の自負心の強さやハッスルぶりを見せつけられるデータである。

そうだとすると、子どもたちが、現状において、親を越せないのはやむを得ないとしても、子どもが父親と同じ年代になったところ、状況はどうなるのであろうか。

表11に示したように、子どもが父親の力を越えることができるかどうかを5段階(きっと越えている~きっと越えていない)で評価を求めた。「越えている」という予測の最も高い「体力の面」でも、「きっと、たぶん越えているだろう」と答えた者がほぼ半数である。かなり子どもの将来に期待し、明るい見通しを持っていた父親たちだが、「自分の力を越えているかどうか」という点になると「なんともいえない」と首をひねってしまう。

つまり、子どもは父親を「越えられない」存在として感じているのに、父親は「越えられる」と子どもの力に期待をかけていることを示している。子どもたちは、何といたっても現実の父親像の大きさから逃れにくいのを感じているように思える。

40代半ばの父親は、日本の高度成長を身を持って支えてきた人たちである。しかも戦後の民主化の洗礼を受けているだけに、専制的なワンマン型の家長でもない。そうした父親の生き方が、皮肉なことに、子どもの目に、理想的な父親像としてうつり、子どもたちは、戦意を喪失している状況にある。

考えてみれば、父親とは、子どもが、自分を追い越すときのために、モデルの役割を果たしてきたともいえよう。換言するなら、子

どもが自分を乗り越えたときに、父親としての役割が終わる。そうであるから、この章で紹介してきたように、父親たちは、子どもの成長に、現実を越える期待を託してきた。しかし、現在の父親は、もしかしたら、父親としての仕事を完了する時を持たないのかもしれない。ここらが、現在の父親の最もふしあわせな部分のように思われる。**我が子に、自分を越してもらえない父親の悲劇である。**

まとめに代えて

父親像をめぐって



1. 父と子三代

我がオヤジ像との比較

昔の父と今の父

大きな時代の流れの中で、人のあり方も少しずつ変わっていく。「地震・雷・火事・オヤジ」と恐れられていた父親たちも、近年めっきり「優しさ」を増してきており、本サンプルも、その例にもれなかったのは、すでに述べた通りである。そこで、ここでは、父親のあり方を考えるにあたって、もう一度出発点へ戻り、かつての父親がどんなタイプの父親であり、また今の父親は子どもからみてどんなタイプなのか、父と子三代の父親像の変化を探ってみたい。

父親と子どもに、それぞれ子どもとしてとらえている父親のタイプを8つの視点からたずねた結果が図28である。例えば①「無理でも押し通すガンコさがある」かどうか自分の父親について評価し、「とてもそう」から「全くそうでない」の5段階で求めたものを、「上段：父親からみた自分のオヤジのタイプ、下

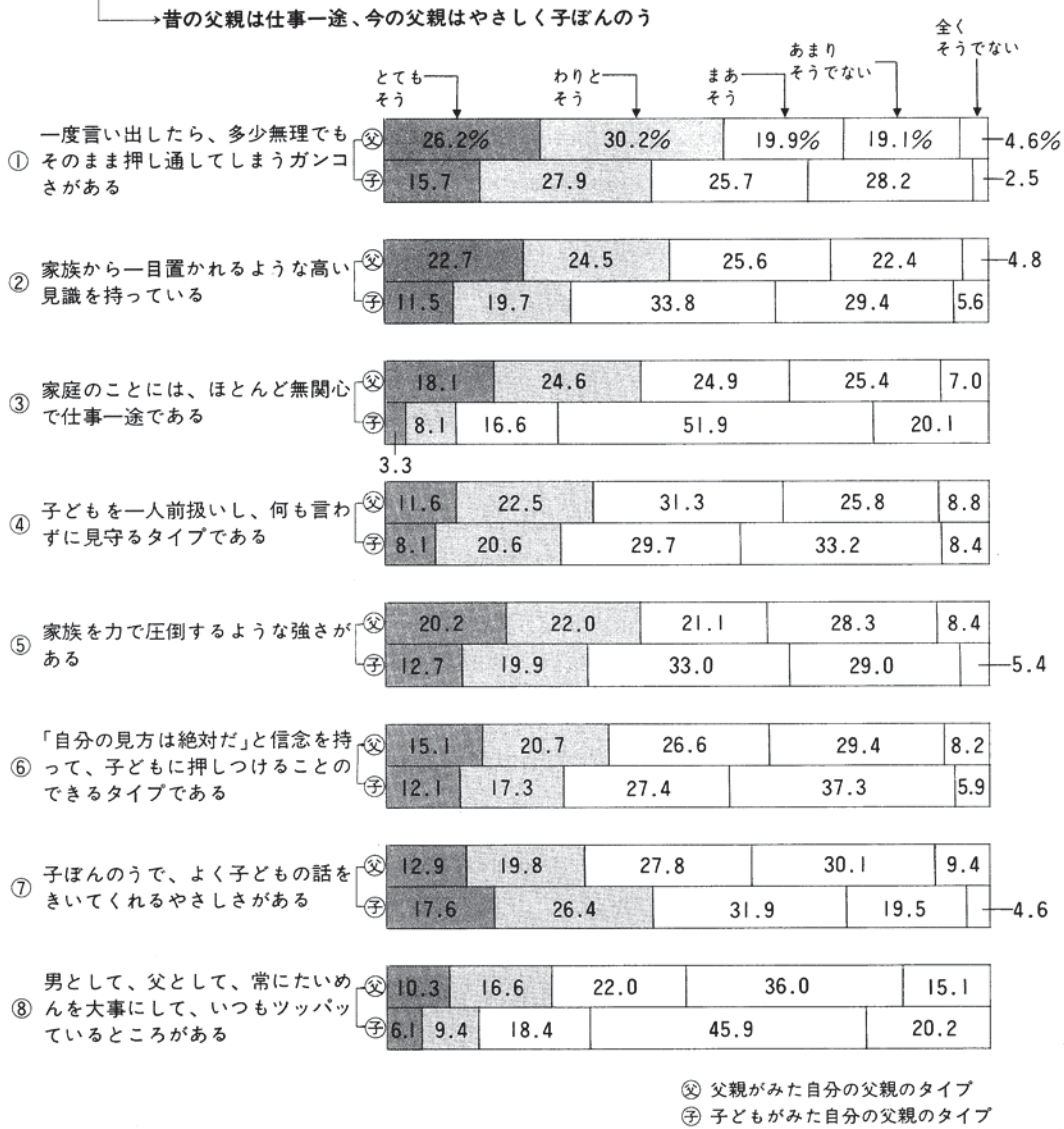
段：子どもからみた父親のタイプ」として図示してある。「ガンコさ」については、今の父親よりも、かつての父親の方がややそうだったと思われるし、②「高い見識」を持っていたのもかつての父親の方であったという具合でほとんどの項目について、かつての父親の方がそうであったという評価が得られている。例えば「とても」「わりと」そうに注目して、図28を集計し直すと、

	昔の父(A)	今の父(B)	B/A
1. ガンコさ	56%	44%	79%
2. 高い見識	47%	31%	66%
3. 仕事一途	43%	11%	26%
4. 一人前扱い	34%	29%	85%
5. 圧倒する力	42%	33%	79%
6. 信念の押しつけ	36%	29%	81%
7. 子ぼんのう	33%	44%	1.33%
8. たいめんを保つ	27%	16%	59%

の通りとなる。

この中で、昔の父と今の父とで際立った開

〈図28〉 父親は、どんなタイプだったか ~父親の父と子どもにとっての父~



きを見せているのは、「昔の親の仕事一途」と「今の親の子ぼんのう」であろう。

もともと、祖父の時代は、労働時間が長く、その上、肉体的な疲労を伴う仕事が多くなかったから、社会的な背景はともかくとして、子ぼんのうになりたくともなれなかったとも

考えられる。しかし、そうした背景を捨象して、昔と今の父親像の変化を対比的にとらえるなら、

昔の父＝ガンコで仕事一途
今の父＝やさしく子ぼんのう

となる。

〈図29〉 両親のようになりたいか

→父親をモデルとして生きていくつもり

① お父さんのようになりたい



	ぜひ	なりたい できたら	やや	なりたく ない	やや	あまり	全く
男子	21.6%	28.1%	27.9%	9.6%	6.6%	6.2%	
女子	12.8	26.0	33.7	12.6	7.8	7.1	

② お母さんのようになりたい



	ぜひ	なりたい できたら	やや	なりたく ない	やや	あまり	全く
男子	15.5	24.4	35.1	13.6	7.0	4.4	
女子	18.3%	26.3%	32.8%	11.1%	6.2%	5.3%	

現在の父親は親しみやすい

このような変化をふまえ、次に、父親たちに、15の項目を提示して、自分の父親と比べ、自分自身の父親ふりと、どちらの方に、そうした傾向が強いのかをたずねてみた。「ぜったい自分の方」から「ぜったい父親の方」までの4段階尺度の設問の内、「ぜったい」あるいは「まあ」自分の方と答えた項目の上位5つと、自分の父（昔の父）の方の5位までを示すと、以下ようになる。

自分(今の父)の方が

- ① 休みの日に子どもとよく接触する……86.1%
- ② 子どもとの会話をよくする……86.1%
- ③ ふだんの日に子どもとよく接触する ……85.3%
- ④ 子どもにとって、親しみやすい……81.7%

⑤ 子どもを大切に思う心が大きい……74.6%

父(昔の父)の方が

- ① 無理でも押し通すガンコさがある ……59.2%
- ② 父親としての権威がある……55.6%
- ③ 社会についての見識が高い……45.5%
- ④ 押さえこむ腕力……44.2%
- ⑤ 仕事の熱心さ……43.4%

「ガンコさ」とか「父親としての権威」の面で、昔の父親と比べ、力不足かもしれない。しかし、子どもとの接触や親しみやすさでは絶対に負けないという評価である。しかも、ガンコさや父親としての権威でも、昔の父の方に軍配をあげているのは、6割程度で、残りの4割は、自分の方がガンコだろうと考えている。

父のようになりたい

そうした意味では、昔気質のがんこさを残しながら、子どもとの接触など、人間的な暖かみを増したのが、現代の父親像なのであろう。

そうした父親のあり方が、子どもたちの支持を得ているのは、図29からも明らかであろう。「大きくなったら父親のようになりたい」と考えている子どもは、男子の場合、「やや」を含めると78%、女子では73%に達する。今までの通説では、娘は父親になつすが、息子は父親を嫌い、母親に愛着を抱くといわれてきた。

しかし、今回の結果では、

	〈息子〉	〈娘〉
父のようになりたい……………	78%	73%
母のようになりたい……………	75%	77%

のように、男子の方が、両親に愛着を感じているのが興味深い。

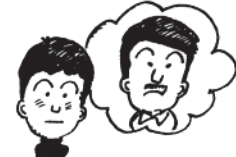
そうした考察はともあれ、7割以上の子どもから、父親のようになりたいと慕われている。父親みようりに尽きるとする反面、父親の力を越えられないと感じている子どもたちが、これから先、どのような形で精神的な自立を図っていくのかが気がかりである。

2. 中学生の求める父親像



(表12) 中学生の抱く理想の父親像

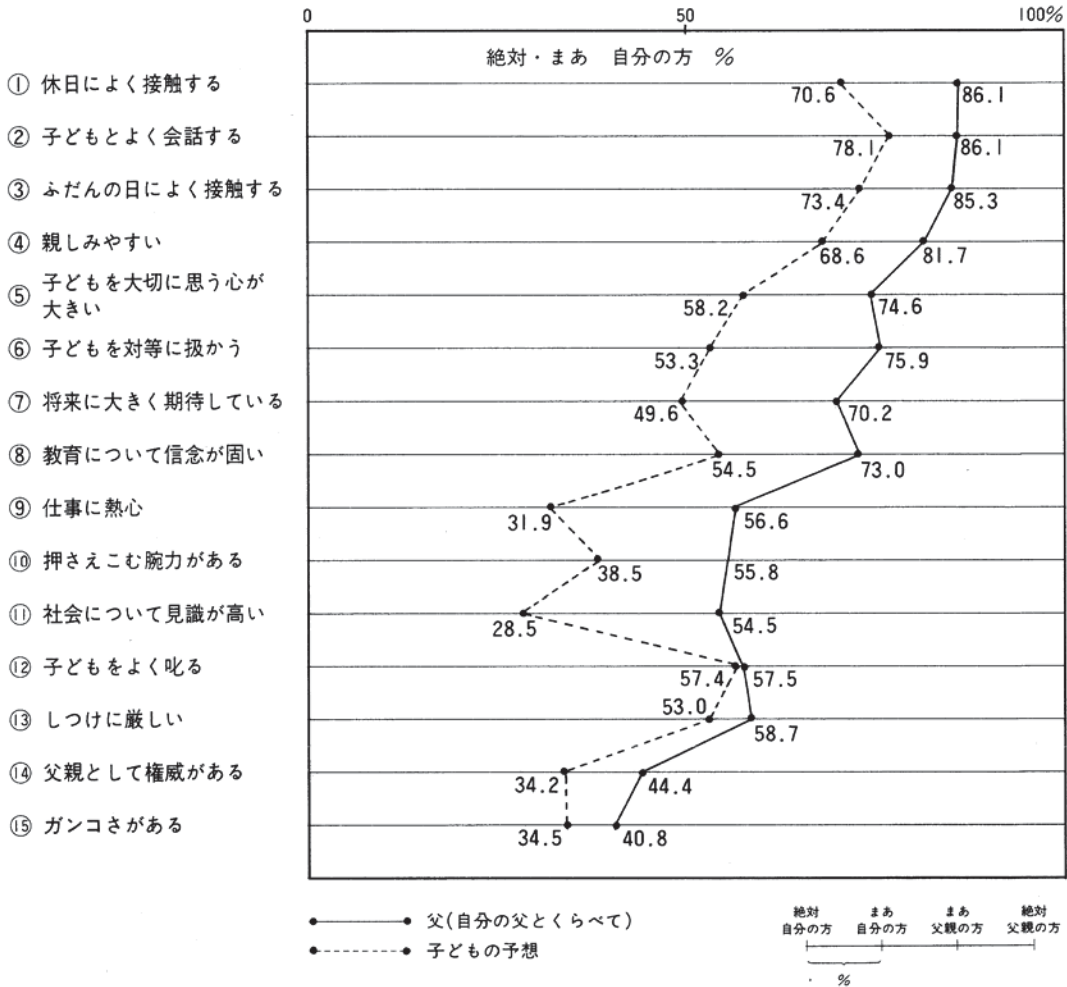
→心が暖かく頼りになる父 (%)



	とてもそう	まあそう	まあそう	とてもそう	
① 心の暖かい	74.3 └─95.5─┘	21.2	3.7 └─4.5─┘	0.8	冷たい
② 尊敬できる	74.0 └─95.3─┘	21.3	3.6 └─4.7─┘	1.1	あなどれる
③ 頼りになる	72.5 └─95.3─┘	22.8	3.9 └─4.7─┘	0.8	頼りにならない
④ 理解がある	71.4 └─95.0─┘	23.6	4.2 └─5.0─┘	0.8	頭が固い
⑤ 話しやすい	73.4 └─94.3─┘	20.9	4.3 └─5.7─┘	1.4	話しづらい
⑥ スポーツ好き	66.5 └─94.0─┘	27.5	4.9 └─6.0─┘	1.1	運動嫌い
⑦ 意欲的	48.3 └─93.1─┘	44.8	6.4 └─6.9─┘	0.5	無気力
⑧ 子ほのう	45.7 └─90.5─┘	44.8	8.5 └─9.5─┘	1.0	子ども嫌い
⑨ 大らか	55.7 └─87.9─┘	32.2	9.8 └─12.1─┘	2.3	几帳面
⑩ 押しが強い	30.8 └─85.2─┘	54.4	13.5 └─14.8─┘	1.3	気が弱い
⑪ テレビ好き	24.8 └─79.3─┘	54.5	18.3 └─20.7─┘	2.4	テレビ嫌い
⑫ テリケートな	21.5 └─76.1─┘	54.6	22.5 └─23.9─┘	1.4	無神経な
⑬ ほがらか	34.1 └─73.7─┘	39.6	19.2 └─26.3─┘	7.1	怒りっぽい
⑭ おしゃれな	21.0 └─69.7─┘	48.7	25.2 └─30.3─┘	5.1	無精な
⑮ 教育熱心	18.3 └─68.2─┘	49.9	28.1 └─31.8─┘	3.7	無関心
⑯ 子どもに厳しい	12.8 └─62.9─┘	50.1	31.8 └─37.1─┘	5.3	子どもに甘い
⑰ 忙しい	14.0 └─61.1─┘	47.1	33.3 └─38.9─┘	5.6	のんびりしている
⑱ 民主的	19.2 └─52.7─┘	33.5	31.6 └─47.3─┘	15.7	権威的
⑲ 仕事一途	14.3 └─36.6─┘	22.3	33.9 └─63.4─┘	29.5	家庭を大切にする
⑳ 口うるさい	4.9 └─27.5─┘	22.6	52.6 └─72.5─┘	19.9	放任的

<図30> 父親ぶりの比較

└─→ 人間的な父親が今後も増加する



やさしさと頼りがい

そこで、結びに代えて子どもたちが、どんな父親像を求めているのかを紹介しておこう。

表12に示したように、子どもたちが、理想像として描く父親の姿は、「心が暖かく、理解があり、話しやすい」上に、「尊敬でき、頼りになり、意欲的」であった。つまり、伝統的な意味での母的な暖かさと父的な頼りがいと

を兼ね備えた姿でもある。しかも、両者を4：6のような形でなく、両者を同じ程度に持った姿を子どもたちは望んでいる。

すでにふれたように、現代の父親たちを特性づけるものは、「やさしさ」と「厳しさ」、換言するなら、父性と母性とを合わせ持った姿にあった。そうした意味では、現実の父親の姿は、中学生の抱く理想像と接近しているといえよう。

未来の父

子どもたちに、「あなたが結婚して、父親になったと仮定してみてください。(女の人は男性になったつもりで)」の設問の仕方、子どもたちが父親になったとき、現実の父とで、「仕事についての熱心さ」や「しつけの厳しさ」が、どちらの方が強いかたずねてみた。

先ほどの父親の場合と同じように、「ぜったい」、「まあ」自分の方(子どもたちが父親になったとき)と答えた割合の多いもの、少ないものを、それぞれ5項目ずつ示すと、以下の通りとなる。

未来の父(子どもが父親になる)の方が

- ①子どもとの会話をよくする……………78.1%
- ②ふだんの日に子どもとよく接触する ……73.4%
- ③休みの日に子どもとよく接触する ……70.6%
- ④子どもにとって親しみやすい……………68.6%
- ⑤子どもを大切に……………58.2%

今の父の方が

- ①社会についての見識が高い……………71.5%
- ②仕事に熱心……………68.1%
- ③父親として権威がある……………65.8%
- ④ガンコさがある……………65.5%
- ⑤子どもを押さえこむ腕力がある……………61.5%

昔の父親と比べ、父親たちの父親ふりと、子どもたちが頭に描いている父親ふりとを、ひとつのグラフにまとめたのが、図30である。全体として、2つのグラフのプロフィールは、ほぼ一致している。事実、昔の父と今の父、今の父と子どもが志す未来の父とでそれぞれ、上位5項目をあらためて、まとめてみると、

今の父と比べ
昔の父の方が

未来の父と比べ
今の父の方が

- ガンコさ……………1位……………4位
- 権威……………2位……………3位
- 社会の見聞……………3位……………1位
- 腕力……………4位……………5位
- 仕事の熱心さ……………5位……………2位

昔の父と比べ
今の父の方が

今の父と比べ
未来の父の方が

- 休日の接触……………1位……………3位
- 子どもとの会話……………2位……………1位
- 平日の接触……………3位……………2位
- 親しみやすさ……………4位……………4位
- 子どもを大切に……………5位……………5位

の通りとなる。つまり、昔の父と比べ、今の父が、ガンコさをなくし、子どもとの接触量が増え、やさしさを増した。それと同じ方向の延長線上に、未来の父親像として浮かんでいる。

3. 新しい父親像の功罪

冒頭でふれたように、従来の父親論は、母親との対比の中で、両極の形でとらえられることが多かった。しかし、この調査から明らかになったのは、やさしさと頼もしさとをともに持った父親の姿であった。こうした父親の姿はやさしさを増したという意味では、母性化ととらえるのも可能であろう。しかし、頼もしさの度合がやや減ったといっても、現在の父親は、依然として、頼もしさを持っており、単に母性化というより、正確には、「父性を残しつつ、母性をも帯びた」の方が父親の現実の姿に近いと考えられる。

しかも、そうした父親は、かつてのカリスマ的な父親に代わって、妻と相談して、ものごとを決定する合議型の、換言するなら、パートナー型の性格を強めている。

そして、子どもたちは、現在の父親のあり方が望ましいと思っているし、尊敬もしている。したがって、「父親の権威が失墜した」や「父親の影が消えた」などの事実は、全くというほど、認められなかった。

戦後三十有余年、父親たちが、昔の父親のあり方を否定し、新しい父親像を築こうとし

てきた努力は、一応の成果を得たと考えられる。

しかし、そうした反面、「頼りがいがある上に、心の暖かい」父親像は、子どもにとって、理想的な姿にすぎる。そのため、子どもたちは、父親に反抗することをやめ、父親に愛着の気持ちを抱いている。その結果、中学生たちの間に、反抗の兆しが認められないのである。さらにいえば、子どもたちは、将来も、父親を越えにくいと予想している。「大きな父」の姿に、子どもたちは呑みこまれている印象も強い。

そうした結果、子どもの自立が遅れている。特に、男の子の場合、父親の傘に依存しているため、精神的なたくましが生まれにくい気もする。

すでにふれたように、子どもが自分を越えたときに、父としての仕事が終わる。しかし、いつまでたっても、子どもたちは父親を越えそうにない。皮肉なことに、子どもが自分を越えていくために、父親としてどうしたらよいのかを、真剣に考えていくことが、父親たちの今後の課題となった気持ちがする。



調査票見本

※ 紙面の都合上、父親用の調査票のみ
掲載し、子ども用は割愛しました。

調査票見本

1 はじめに、あなた(お父さま)の毎日のご生活について、おうかがいたします。

(a)お住まいと仕事場とは、離れた所にありますか。

あてはまる番号に○をつけてください。

1. 毎日、家から仕事場まで通っていく
2. 家で仕事をすることもあるし、外に出ることもある
3. 仕事場と家とは、いっしょである
4. 仕事のため、家族と別居している

(b)通勤所要時間は、だいたいどのくらいですか。

0分 ~30分 ~60分 ~1時間半以内 ~2時間以内 ~2時間半以内 それ以上
 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ 6 _____ 7

(c)平日の帰宅時間は、決まっていますか。

毎日 だいたい まあ あまり 全く
 決まっている 決まっている 決まっている 決まっていない 決まっていない
 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5

それは、何時ごろですか？

午後・午前 時ごろ

(d)ふだんの日に、ご家族とご一緒にお食事をなさることがどのくらいありますか。

毎日一緒に 週に 週に 週に1回 ほとんどない
 たべる 4~5回 2~3回
 ① 朝食..... 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5
 ② 夕食..... 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5

(e)では、お休みの日は、どうですか。

かならず たいてい
 一緒に 一緒に 時々一緒に たまに一緒に ほとんどない
 ① 朝食..... 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5
 ② 夕食..... 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5

(f)ふだんの日、お宅に帰ってからどんなふうにご過ごされることが多いですか。

○をひとつつけてください。

1. 仕事を持って帰って片づける
2. のんびりテレビなどをみて過ごす
3. 家族と話をしたり、なるべく一緒に過ごす
4. 自分の趣味(読書など)のために使う
5. 何となくボンヤリしていて、早めに寝る

(g)では、お仕事がお休みの日は、たいていどんなふうに過ごされますか。

1. 仕事をしたり、仕事からみの外出をすることが多い
2. のんびりテレビなどみて過ごす
3. 家族と話をしたり、なるべく一緒に過ごすようにする
4. せっかくの休みだから、自分の趣味のために使う
5. 何となくボンヤリ過ごしてしまう

(h)現在、お住まいのご近所の方々は、どのくらいおつきあいされていますか。

	地域の世話人 などとして とても親しい	わりと親しく している	ご近所の 人ぐらい 知っている	まあ、あいさつ する程度	ほとんど顔を 合わせた こともない
あなたご自身は	1	2	3	4	5

(i)お宅では、あなたがお使いになるための仕事部屋や書斎などがありますか。

1. ある
2. それに近い使い方をしている部屋やコーナーがある
3. 特にない

2 いま、中学にいらっしゃるお子さんは、あなたのことを、どんなお父さんだと思っているでしょうか。下のそれぞれの項目についてお答えください。

	とてもそう	まあそう	まあそう	とてもそう	
① 子どもに厳しい	1	2	3	4	子どもに甘い
② 頼りになる	1	2	3	4	頼りにならない
③ 権威的	1	2	3	4	民主的
④ 口うるさい(干渉的)	1	2	3	4	放任的
⑤ 理解がある	1	2	3	4	頭が固い
⑥ 教育熱心	1	2	3	4	無関心
⑦ 話しやすい	1	2	3	4	話しづらい
⑧ 大らか	1	2	3	4	几帳面
⑨ 子ぼんのう	1	2	3	4	子ども嫌い
⑩ 仕事一途	1	2	3	4	家庭を大切にする
⑪ 意欲的	1	2	3	4	無気力
⑫ スポーツ好き	1	2	3	4	運動嫌い
⑬ おしゃれな	1	2	3	4	無精な
⑭ 忙しい	1	2	3	4	のんびりしている
⑮ テレビ好き	1	2	3	4	テレビ嫌い
⑯ 押しが強い	1	2	3	4	気が弱い
⑰ 心の暖かい	1	2	3	4	心の冷たい
⑱ 怒りっぽい	1	2	3	4	ほがらか
⑲ 尊敬できる	1	2	3	4	あなどれる
⑳ デリケートな	1	2	3	4	無神経な

調査票見本

3 では、今から考えると、**あなたのお父さま**は、どんなタイプの父親だったと思われるですか。あなたが、中学生ぐらいのころを思い出して、お答えください。

- | | | | | | | |
|--|---------|---------|---------|---------|--------------|-------------|
| | | とてもそう | わりとそう | まあそう | あまり
そうでない | 全く
そうでない |
| ① 一度言い出したら、多少無理でもそのまま押し通してしまうガンコさがあった | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 | ----- 5 | |
| ② 家庭のことには、ほとんど無関心で仕事一途であった | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 | ----- 5 | |
| ③ 家族を力で圧倒するような強さがあった | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 | ----- 5 | |
| ④ 家族から一目置かれるような高い見識をもっていた | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 | ----- 5 | |
| ⑤ 子ばんのうで、よく子どもの話をきいてくれるやさしさがあった | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 | ----- 5 | |
| ⑥ 子どもを一人前扱いし、何も言わずに見守るタイプであった | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 | ----- 5 | |
| ⑦ 「自分の見方は絶対だ」と信念を持って子どもに押しつけることのできるタイプであった | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 | ----- 5 | |
| ⑧ 男として、父として、常に体面を大事にして、いつもツツパッているところがあった | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 | ----- 5 | |

4 あなたとあなたのお父さまの**父親ぶり**をくらべてみて、次のような点については、どちらの方がそうした傾向が強いと思われるですか。

- | | | | | |
|----------------------------------|------------|------------|------------|------------|
| | 絶対
自分の方 | まあ
自分の方 | まあ
父親の方 | 絶対
父親の方 |
| ① しつけに厳しいのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ② 子どもをよく叱っているのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ③ 子どもにとって、親しみやすいのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ④ 子どもを大切に思う心が大きいのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ⑤ 子どもを押さえこむ腕力があるのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ⑥ 無理でも押し通すガンコさがあるのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ⑦ 社会についての見識が高いのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ⑧ 子どもの教育についての信念が固いのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ⑨ 仕事に対して熱心なのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ⑩ 父親としての権威があるのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ⑪ 子どもとの会話をよくするのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ⑫ ふだんの日に子どもとよく接触するのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ⑬ 休みの日に子どもとよく接触するのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ⑭ 子どもを対等に一人前として扱おうと配慮しているのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |
| ⑮ 子どもの将来に大きな期待を持っているのは..... | 1 | ----- 2 | ----- 3 | ----- 4 |

5 お子さんのしつけや教育について、あなた自身は、次のようなことをどのくらい心がけていらっしゃるでしょうか。

- | | びったり
あてはまる | まあ
あてはまる | あまり
あてはまらない | 全然
あてはまらない |
|---|---------------|-------------|----------------|---------------|
| ① おりがあるごとに、自分の子ども時代のことを、子どもに話すようにしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 仕事を通して見聞したことを、子どもにわかる形で話すようにしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 子どもの洋服などを買う時は、なるべくついでにいくようにしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 進学の相談や将来の進路について、なるべく子どもと話し合うようにしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 子どもと同じ趣味（スポーツなど）を持ち、なるべく子どもと接する機会を持つようにしている | 1 | 2 | 3 | 4 |

6 お子さんの教育について、いろいろ意見があります。次のそれぞれについて、あなたのお考えにあてはまる番号に○をつけてください。

- | | 全く
そう思う | まあ
そう思う | あまり
そう
思わない | 全然
そう
思わない |
|--|------------|------------|-------------------|------------------|
| ① 今の子どもの心の内は、親たちにはわからないことが多い | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 努力さえすれば、どの子どもでもよい成績がとれるようになるはずだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ スポーツクラブに熱中しているのなら、少しぐらい勉強が苦手でもかまわない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 子どもは、特に親が指導しなくても、自分の力でのびていくものだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ いまの社会では、やはりいい大学を卒業できるかどうか、子どもの将来に大きく影響すると思う | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ かりに、子どもが勉強が苦手だとしたら、無理をして高校や大学へ入れるつもりはない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 子どもが中学生になったら、もう子どもを信頼して、何でも自由にさせてやるべきだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 子どもが悪い仲間に入ったり、不良化したりするのには、親のしつけが甘かったせいだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ 子どもが中学生になったら、子どもの教育のことは、とにかく父親が中心になって考えていかなければならない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑩ 子どもには、手に職（特技）をつけさせて早く一人前にして社会に出してやりたい | 1 | 2 | 3 | 4 |

調査票見本

7 お子さんは、なにか困った時に、あなたに相談にくることがありますか。

しょっちゅうある わりとある 時々ある たまにある 全くない
 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5

8 お子さんが、次のようなことをする許可を受けるとき、あなたと奥さまのどちらのお考えで決めることが多いですか。

- | | 全く
あなたの
意見 | たいてい
あなたの
意見 | 半分半分 | たいてい
奥さまの
意見 | 全く
奥さまの
意見 |
|-------------------------------------|------------------|--------------------|------|--------------------|------------------|
| ① こづかいの値上げ..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 友だち（同性）の家に泊まる時..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ ステレオやテープ・デッキなど大きな
買物をするとき..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 友だち同士での日帰り旅行..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 休みの日に映画をみにいったりするとき..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 進学についての決定..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ クラブや部活をやめるとき..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 泊りがけの合宿や旅行に行くとき..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

9 あなたは、お子さん（いま、中学にしている）について、次のようなことをどのくらいご存知ですか。

- | | 全く
わからない | もしかしら
という程度 | 少しは
知っている | だいたい
知っている | はっきり
知っている |
|-----------------------------|-------------|----------------|--------------|---------------|---------------|
| ① 現在、親しくしている友だちの名前..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 中学で入っている部活..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 現在の学校の成績..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 将来の進路についての希望(なりたい職業)..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ いま、一番欲しがっているもの..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 好きな歌手やタレントの名前..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ いま、つきあっている異性の友だちの名前..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 志望している高校..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ お子さんの誕生日..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ お子さんの食べ物の好み..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

10 お子さんの勉強について、おききします。

(a)成績(クラスで)..... 1 ^{1~2番} 2 ^{4~5番} 3 ^{10番ぐらい} 4 ^{中ぐらい} 5 ^{中の下} 6 ^{下ぐらい}

(b)あなたのお子さんの成績の最近(ここ1~2年)の傾向はどうですか。

1. 2. 3. のいずれかに○をつけてください。

1. 上昇ぎみ
2. だいたい同じ
3. 下がりぎみ

(c)あなたのお子さんは、いま **勉強** についてがんばっているほうだとお考えですか。

とても かなり やや あまり ほとんど とても
 がんばって がんばって がんばって がんばって がんばって がんばって
 いる いる いる いない いない ないまけて
 いる いる いる いない いない いる
 1 2 3 4 5 6 7

(d)お子さんがいま、もしもっとがんばったとしたら、クラスでどのくらいの成績をとれると思いますか。

1 ^{1~2番} 2 ^{4~5番} 3 ^{10番ぐらい} 4 ^{中ぐらい} 5 ^{中の下} 6 ^{下ぐらい}

11 お子さんの成長について、下のそれぞれの項目にあるような様子が見られるかどうか、ご存知ですか。

「あった」か「なかった」かなど該当するところに○をつけて、「あった」時期も書き入れてください。

① 急にお子さんの背が伸びたり、体格がよくなったりした時期

1. あった.....▶それはいつですか
 2. なかった(まだない) 小学4年生 小学5年生 小学6年生 中学1年生 中学2年生 中学3年生
 以前 ころ ころ ころ ころ ころ
 3. わからない 1 2 3 4 5 6

② 初潮(女子)や声変わり(男子)

1. あった.....▶それはいつですか
 2. なかった(まだない) 小学4年生 小学5年生 小学6年生 中学1年生 中学2年生 中学3年生
 以前 ころ ころ ころ ころ ころ
 3. わからない 1 2 3 4 5 6

③ ひとりで風呂に入りたがる(身体を誰かに見られたくない)ようになった時期

1. あった.....▶それはいつですか
 2. なかった(まだない) 小学4年生 小学5年生 小学6年生 中学1年生 中学2年生 中学3年生
 以前 ころ ころ ころ ころ ころ
 3. わからない 1 2 3 4 5 6

13 また、あなたについておうかがいたします。

(a) お子さんの勉強について、わからないことを質問された時、だいたい答えることができたのは、何年生ぐらいまででしたか。

		小学 1~2年生まで		3~4年生まで		5~6年生まで		今も(中学生になっても) 自信がある
① 国語	1	-----	2	-----	3	-----	4
② 社会	1	-----	2	-----	3	-----	4
③ 算数(数学)	1	-----	2	-----	3	-----	4
④ 理科	1	-----	2	-----	3	-----	4
		中学 1年生なら		2年生 ぐらいなら		高校生 ぐらいなら		大学生 でもよい
⑤ 英語	1	-----	2	-----	3	-----	4

(b) あなたは、いま中学にいらっしゃるお子さんと比べて、まだひけをとらないと自信を持っているものが、下の項目のなかにありますか。

		絶対に 負けない		たぶん 負けない		まあ 同じくらい		たぶん かなわない		絶対に かなわない
① 腕ずもうの強さ	1	-----	2	-----	3	-----	4	-----	5
② しょうぎやゲーム類の強さ	1	-----	2	-----	3	-----	4	-----	5
③ なわとびの回数	1	-----	2	-----	3	-----	4	-----	5
④ 精神的集中力	1	-----	2	-----	3	-----	4	-----	5
⑤ 読書の量	1	-----	2	-----	3	-----	4	-----	5
⑥ 社会(世の中)のできごとに関する知識	1	-----	2	-----	3	-----	4	-----	5
⑦ 粘り強さ(根気)	1	-----	2	-----	3	-----	4	-----	5
⑧ 仕事(勉強)に対する意欲(ヤル気)	1	-----	2	-----	3	-----	4	-----	5
⑨ 英語の力	1	-----	2	-----	3	-----	4	-----	5

(c) もしも、お子さんが成長するにつれて、いろいろな意味で、お子さんが自分より力をもつてくるとした時に、これだけは、どうしても負けたくないと思うものがありますか。

① (b) の①~⑨の中では ----- → ()

② その他 (※具体的に書いてください。)

調査票見本

(d)子どもの成長につれて、お子さんが自分に追いついてくるとか、追い越すとかいったことを、あなたは、どんなお気持ちで受けとめていらっしゃいますか。

- | | とても
感じる | かなり
感じる | まあ
感じる | あまり
感じない | 全く
感じない |
|----------------|------------|------------|-----------|-------------|------------|
| ① うれしい気持ち..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② くやしい気持ち..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ さびしい気持ち..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 頼もしい気持ち..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

14 (a)これまで生きていらした道程を振り返って、あなたは、自分の人生にどのくらい満足されているとさせていただきますか。

- | | とても
満足
している | かなり
満足 | やや
満足 | どちらとも
いえない | やや
不満 | かなり
不満 | とても
不満が
ある |
|-----------------|-------------------|-----------|----------|---------------|----------|-----------|------------------|
| ① 仕事の面で..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ② 奥さまについて..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ③ お子さんについて..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

(b)では、満足されている方もそうでない方も、これまでの人生を振り返って、どんな気持ちをお持ちですか。

- | | とても
そう
思う | まあ
そう
思う | どちらとも
いえ
ない | まあ
そう
思う | とても
そう
思う | |
|-------------------------------|-----------------|----------------|-------------------|----------------|-----------------|------------------|
| ① 運がよかった..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 運が悪かった |
| ② 家族に恵まれた..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 家族に恵まれなかった |
| ③ 精一杯努力した..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | あまり努力しなかった |
| ④ 時代がよかった..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 時代が悪かった |
| ⑤ よい親に恵まれた..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 親に恵まれなかった |
| ⑥ 友だちや先輩など、人間
関係に恵まれた..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 人間関係に恵まれな
かった |
| ⑦ 自分に能力があった..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 自分に能力がなかった |

(c)あなたは、以下のような面で、あなたの現在の状況にどのくらい満足なさせていただきますか。

	とても満足	かなり満足	やや満足	なんとなくいえない	やや不満	かなり不満	とても不満
① 住む地域……………	1	2	3	4	5	6	7
② 収入……………	1	2	3	4	5	6	7
③ 仕事(上の地位)……………	1	2	3	4	5	6	7
④ 最終学歴……………	1	2	3	4	5	6	7
⑤ 子ども……………	1	2	3	4	5	6	7
⑥ 住まい……………	1	2	3	4	5	6	7
⑦ 奥さま……………	1	2	3	4	5	6	7

(d)あなたは、次のような面で、どんな気持ちをお持ちですか。

	これからもっとよくなる	これまでも今の状況がつつく	これまでもうやってきたが、これからうまくいかなくなる	これまでうまくいかなかったが、これからよくなる	これまでもだめだろう
① 仕事の面で……………	1	2	3	4	5
② 趣味の面で……………	1	2	3	4	5
③ お子さんとのことで……………	1	2	3	4	5
④ 経済的な面で……………	1	2	3	4	5
⑤ 奥さまとのことで……………	1	2	3	4	5

15 あなたは、ふだんお宅にいて、次のような感じを持つことがありますか。

	全くない	たまにある	時々ある	わりとある	しょっちゅうある
① どうも妻は、子どもや自分に口やかましすぎる……………	1	2	3	4	5
② 仕事で疲れて帰っても、どうも家では、くつろいだ気分になれない……………	1	2	3	4	5
③ 休みの日など、家族の中で自分ひとりが浮き上がっているような気分がする……………	1	2	3	4	5
④ いまの家庭には、自分がゆっくり好きなことのできる場がなく、きゅうくつだ……………	1	2	3	4	5
⑤ 家族は、自分が外でどんなに苦勞しているかわかってくれない……………	1	2	3	4	5
⑥ だんだん子どもが、自分の手から離れていくような寂しさを感じる……………	1	2	3	4	5
⑦ 家族の中で、もう少し自分は大切にされ尊敬されるべきである……………	1	2	3	4	5
⑧ 仕事や家庭のわずらわしさから逃れて、何かひとり旅でもしたいと思う……………	1	2	3	4	5

調査票見本

16 あなたのお子さんの **将来** について、どんな見通しをお持ちですか。
ばくぜんとしたもので結構ですから、(a)~(g)のそれぞれについて○をつけてください。

(a)高校について

1. 有名校に入れるだろう
2. 有名校ではないが一応のところ
3. まあまあの高校
4. あまり満足できる高校には入れないかもしれない
5. 進学しないだろう

(b)大学について

1. 一流大学に入れるだろう
2. 一流ではないがまあ有名なところ
3. まあまあの大学
4. あまり満足できる大学には入れないかもしれない
5. 進学しないだろう

(c)具体的には、お子さんに将来どんな職業についてほしいとお考えですか。

※くわしくお書きください。

(d)お子さんは、どんな人生を送りそうですか

「そう思う」ものには○、「思えない」ものには×をつけてください。

1. 世に知られるような偉大な人物になるかもしれない
2. 偉大というほどではないが、エリートとして人生を送るかもしれない
3. ふつうより上の暮らしはできるかもしれない
4. ふつうの暮らしはしていけるだろう
5. ふつうよりやや下の暮らししかできないかもしれない
6. あまりよい暮らしは望めそうもない

(e) 将来、お子さんにどんな人になってほしいとお考えですか。

- | | ぜひ
そうなって
ほしい | できれば
そうなって
ほしい | まあ
そうなって
ほしい | あまり
望まない | 全然
望まない |
|---------------------------|--------------------|----------------------|--------------------|-------------|------------|
| ① だれからも好かれる、心の暖かい人…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 自分の望む道を地味でもコツコツ進む人…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 経済的に豊かな生活のできる人…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ だれからも尊敬される、権威をもった人…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 社会のために奉仕する人…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 仕事より家庭生活を大切にしている人…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

(f) 30歳ぐらいの男性と比べて、あなたは次のような面で負けない自信がありますか。

- | | 絶対
負けない | たぶん
負けない | なんとも
いえない | たぶん
負ける | きっと
負ける |
|---------------------|------------|-------------|--------------|------------|------------|
| ① 体力の面で…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 仕事に対するやる気…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 人間関係…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 社会常識…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ ものごとについての判断力…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 経済力の面で…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

(g) お子さんが、あなたと同じ年頃になった時、以下のような面であなたを越えているとお思いですか。

- | | (あなたを)
きっと
越えている | たぶん
越えている | なんとも
いえない | たぶん
越えていない | きっと
越えていない |
|---------------------|------------------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| ① 体力の面で…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 仕事に対するやる気…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 人間関係…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 社会常識…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ ものごとについての判断力…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 経済力の面で…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

調査票見本

17 あなたは、男性や女性の幸せな生き方について、どんな考えをお持ちでしょうか。次のような意見について、最もあてはまるところに○をつけてください。

① やはり女は、家庭に入って、家事・育児に専念するのが一番幸せである。

	とても そう 思っている	わりと そう 思っている	まあ そう 思っている	あまり そう 思っていない	全然 そう 思っていない
⑦ あなたの意見としては.....	1	2	3	4	5

④ お子さんの将来の生き方としては..... 1 — 2 — 3 — 4 — 5
(女の子のいない場合は仮定して)

② 男子たるものは、あまり家庭にとらわれず仕事に打ち込むのが幸せな生き方である。

	とても そう 思っている	わりと そう 思っている	まあ そう 思っている	あまり そう 思っていない	全然 そう 思っていない
⑦ あなたの意見としては.....	1	2	3	4	5

④ お子さんの将来の生き方としては..... 1 — 2 — 3 — 4 — 5
(男の子のいない場合は仮定して)

18 最後にあなたご自身のことをおたずねします。

(データを集計する際、参考にさせていただきたいと存じますので、どうしてもお答えになりにくいものは空欄で結構ですが、よろしく願いいたします。)

(a)失礼ですが、あなたは現在満何歳におなりですか。満()歳

(b)現在のお子さんの数は ()人 → { 長男の年齢()歳・いない
長女の年齢()歳・いない

(c)この用紙をお持ち帰りになったお子さんの性別 (男・女)

(d)あなたのお仕事 (※できるだけくわしくお書きいただくと助かります。)

(e)最後にご卒業された学校についておたずねします。
該当するものひとつに○をつけてください。

⑦ あなた（お父さま）が最後にご卒業された学校

中学校
高等専門学校
高等学校
大学
短期大学
大学院
各種学校

⑧ 奥さま（お母さま）が最後にご卒業された学校

中学校
高等専門学校
高等学校
大学
短期大学
大学院
各種学校

※これで終わりです。

なお、お子さんたちにも、これとよく似たアンケートに答えてもらいました。
お父さま方とお子さんとの気持ちのずれがあるかどうかを分析させていただく予定にしています。

ご協力ありがとうございました。

われわれは、教育・文化産業を通して社会に貢献することを誇りとし、この仕事を伸ばすことに生甲斐と強い使命感をもつ。

われわれは社会正義に徹し、夢と若さと愛情を合言葉として、常によりよいものを求める姿勢で社業の発展に全力をつくす。

■事業部案内

<p>通信教育本部</p>	<p>●高校通信教育部 高校生を対象に、受験と進路情報の「進研ゼミ」高校講座を行っています。また、進研新聞を企画・発行しています。</p> <p>●中学通信教育部 中学生を対象に、通信教育による学力増進のための「進研ゼミ」中学講座を行っています。また、進研ニュース・中学版を企画・発行しています。</p> <p>●小学通信教育部 個性豊かな小さい芽を大切に育てたい。小学生に基礎学力をつけ、将来伸びる能力をつける個別対応の通信教育講座です。</p>
<p>テスト学参本部</p>	<p>●高校部 模擬試験（進研模試）の実施、および大学受験用問題集、進研ニュース（進学情報紙）を企画発行しています。</p> <p>●中学部 中学生を対象とした学力評価テスト、各種副読本、学習参考書、問題集を発行しています。</p> <p>●学参部 中学・高校生を対象とした学習参考書、問題集を企画・発行しています。</p> <p>●手帳部 全国の中学・高校で、学校生活に必携の「生徒手帳」製作を行っています。</p>
<p>書籍本部</p>	<p>●書籍編集部 学術図書、一般教養図書、絵本、児童書などを刊行しています。また、「福原麟太郎随想全集」全8巻の刊行を始めます。「大原総一郎随想全集」全4巻を刊行。</p> <p>●OID編集部 「オックスフォード・カラー英和大辞典」を刊行。</p> <p>●文芸部 文芸雑誌『海燕』及び文芸書の発行を企画しています。</p> <p>●営業・開発</p>